

BULLETIN OF THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

No. 20 March 1951

THE KYOTO UNIVERSITY FORESTS

KYOTO, JAPAN

京都大學農學部

演 習 林 報 告

第 二 十 號

京都大學農學部附屬演習林

昭和二十六年三月

臺灣におけるキナ樹の收穫學的研究

沼 田 大 學

目 次

第一章	キナ樹栽培の沿革	1
第二章	キナ原産地と移入栽培地との立地條件の比較	4
第三章	傾斜地の方向による立地因子の相違	7
第四章	南面および北面における生長量比較	12
	(1) 低溫季と高溫季の生長量比較	12
	(2) 年生長經過	13
	(3) キナの連週上長生長	15
第五章	キナ林分生長量	19
	(1) 林齡と平均樹高	21
	(2) 林齡と平均木周圍	23
	(3) 林齡と立木本數の消長	24
	(4) 單位面積當り本數に對する批評	26
	(5) 上長生長と肥大生長との關係	27
第六章	キナ林の林分構成	28
	(1) 周圍ならびに樹高級別本數	28
第七章	キナ樹皮	32
	(1) 樹皮の厚さ	32
	(2) 樹皮量	36
	a) 樹皮水分含有量	36
	b) 乾燥樹皮の收量	40
	c) 各林齡標準木の各地上高における平均幹皮收量(氣乾)	44
	d) 單位面積當樹皮蓄積量(氣乾)	46
	e) キナ樹皮收穫表	48

第八章	キナ樹のキニーネ含有率の問題	50
(1)	各個樹のキニーネ含有率の問題	50
(2)	キナ樹の幹部分による硫キ含有率	52
(3)	林齡と各部分の硫キ含有率	53
第九章	キナ樹皮のキニーネ含有量	56
(1)	標準木一本當り平均當り硫キ量	57
(2)	標準木幹皮の地上高による硫キ量の變化	59
(3)	Ha 當り硫キ收量	61
a)	標準木平均硫キ收量による方法	62
b)	Ha 當り樹皮量に對して硫キ含有率を乗じて得たる收量	62
(4)	硫キ收穫表	63
第十章	將來のキナ樹栽培の要點	66

昭和二十六年三月二十六日 印刷
昭和二十六年三月三十一日 發行

京都大學農學部附屬演習林
京都市左京區北白川

印刷者 竹 内 平 治
京都市中京區柳馬場蛸藥師南

印刷所 **みかど印刷株式會社**
京都市中京區柳馬場蛸藥師南

